

IBM SPSSStatistics
バージョン 30

macOS 用インストール手順 (コンカレン
ト・ライセンス)



目次

第1章インストール手順.....	1
システム要件.....	1
インストール.....	1
複数バージョンの実行および前のリリースからのアップグレード.....	1
IBM スポス 統計開発者 に関する注意事項.....	1
ダウンロードされたファイルからのインストール.....	1
ドブド/シーディー からのインストール.....	1
製品のライセンス取得.....	1
ライセンス認証ウィザードの使用.....	2
コンピューター・ライセンスのチェックアウト/チェックイン.....	2
フィックスパックの適用.....	3
アンインストール.....	3

第1章 インストール手順

以下に、ライセンス・タイプ IBM® SPSS® Statistics を使用して 30 バージョン 並行ライセンス をインストールする方法を説明します。この文書は、デスクトップ・コンピューターにインストールするユーザーを対象としています。

システム要件

IBM SPSS Statistics のシステム要件を確認するには、<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity/softwareReqsForProduct.html> にアクセスしてください。

インストール

複数バージョンの実行および前のリリースからのアップグレード

新しいバージョンの IBM SPSS Statistics をインストールする前に、その古いバージョンをアンインストールする必要はありません。同じマシンに複数のバージョンをインストールして実行できます。ただし、前のバージョンがインストールされているのと同じディレクトリーに新しいバージョンをインストールしないでください。

IBM スポンサー 統計開発者 に関する注意事項

IBM スポンサー 統計開発者 をインストールしている場合、製品をスタンドアロンで実行できます。Python および R ツールが製品の一部になりました。

ダウンロードされたファイルからのインストール

1. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストーラー・ディスク・イメージをマウントします。
2. マウントされたディスク イメージで、インストーラ ファイルをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

ドブド/シーディー からのインストール

1. ドブド/シーディー を ドブド/シーディー ドライブに挿入します。
2. ドブド/シーディー ドライブを参照します。
3. スポンサー の統計 インストーラー をダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

製品のライセンス取得

製品のインストール後、IBMId (**IBMId でログイン(Login with IBMId)**) を使用するか、ライセンス認証ウィザード (**ライセンス ウィザードの起動 (Launch License Wizard)**) 経由で認証コードを使用して製品をアクティブにできます。製品への使用をライセンス交付を適切に実行するには、「**ライセンス ウィザードの起動 (Launch License Wizard)**」 オプションを選択する必要があります。「**IBMId でログイン(Login with IBMId)**」 オプションは製品のサブスクリプション・バージョン用であり、他のライセンス交付を受けたバージョンとはアクティブにする方法が異なります。サブスクリプション・バージョンとライセンス交付を受けたバージョンの差異について、詳しくは「[お客様に適した IBM SPSS Statistics バージョンをご提案します](#)」を参照してください。

ライセンス認証ウィザードの使用

1. ライセンス認証ウィザードは、製品のインストール後に即時起動します。製品のインストール後にウィザードを実行する必要がある場合は、製品メニューから「>ファイル ライセンスの管理 IBM SPSSStatistics」をクリックします。
2. 「同時ユーザー ライセンス」を選択します。プロンプトが出されたら、ライセンス マネージャのサーバー名または IP アドレスを入力します。これは、ネットワーク・ライセンス・マネージャを実行しているサーバーの IP アドレスまたは名前です。複数のアドレスまたは名前がある場合は、ティルドで区切ります (例: server1~server2~server3)。この情報がわからない場合は、管理者に連絡してください。

注: ご使用の環境に応じて、TCP ポート 7 が開いていることを確認しなければならない場合があります。ライセンス認証ウィザードでは、ポート 7 でライセンス・マネージャ・サーバーに一度接続して、それが存在することを確認する必要があります。

コンピューター・ライセンスのチェックアウト/チェックイン

ネットワーク・ライセンスでは通常、IBM SPSSStatistics を実行するためにネットワークに接続していることが必要です。管理者がコンピューター・ライセンスを使用可能にしている場合は、ネットワークに接続していないときにコンピューター・ライセンスをチェックアウトして、ネットワーク・ライセンスを使用できます。例えば、ネットワーク接続がない場合には、電車で SPSSStatistics を実行することができます。ネットワークを切断して電車に乗る前に、一定時間を限度としてコンピューター・ライセンスをチェックアウトできました。この有効期限が切れる前に、ネットワークに再接続し、ライセンスをチェックインして戻す必要があります。それ以外の場合、SPSSStatistics は作業を停止します。

ネットワーク・ライセンスを使用可能にし、構成するのは管理者です。この機能を使用する必要があるが使用できない場合、管理者に問い合わせてください。

重要: ネットワークに再接続されているために SPSSStatistics を実行できる場合でも、必ずライセンスをチェックインしてください。これにより、他のユーザーがコンピューター・ライセンスを利用できるようになります。

ライセンスのチェックアウト

1. SPSSStatistics を開いて「ファイル」>>「ライセンスの管理」を選択します。「ライセンスの管理」ダイアログが表示され、オプション **ライセンスの起動ウィザード**、**Commuter ユーティリティー・ツールの起動**、および **ライセンスの切り替えと再起動** が表示されます。
2. **Commuter ユーティリティー・ツールの起動** をクリックします。
3. チェックアウトするライセンスを選択します。
4. 「**持続**」フィールドに、ライセンスのチェックアウトに使用する日数を入力します。管理者が構成する限度があります。
5. 「**チェックアウト (Check Out)**」をクリックします。

コンピューター・ライセンスは、「**期間**」に指定した日数後、有効期限が切れます。手動でいつでもライセンスをチェックインして戻すこともできます。

次の形式のメッセージが表示される場合があります。

```
Error while checkout with error code: <code>
```

一般的なコードは次のとおりです。

Code	意味
77	すべての使用可能なライセンスがチェックアウトされています。
1402	別のユーザー用に予約されているライセンスをチェックアウトしようとして失敗しました。

ライセンスのチェックイン

1. SPSSStatistics を開いて「ファイル」>>「ライセンスの管理」を選択します。「ライセンスの管理」ダイアログが表示され、オプションライセンスの起動ウィザード、**Commuter** ユーティリティー・ツールの起動、およびライセンスの切り替えと再起動が表示されます。
2. **Commuter** ユーティリティー・ツールの起動 をクリックします。
3. チェックインするライセンスを選択します。自分がチェックアウトしたライセンスには、チェック・マークが付けられています。
4. 「チェックイン」をクリックします。

フィックスパックの適用

操作で問題が発生しないようにするため、ご使用の製品を常に最新のフィックスパック・レベルにしておいてください。フィックスパックの説明に従い、必要なインストール前のタスクとインストール後のタスクをすべて実行してください。

アンインストール

1. インストール フォルダをごみ箱にドラッグします。デフォルトでは、これは */Applications/IBM SPSS Statistics 30* です。
2. ホーム・フォルダーで、ライブラリー/設定をご覧ください。
3. *com.ibm.spss.plist* をごみ箱にドラッグします。このファイルは、IBM SPSSStatistics、IBM SPSSStatistics Student 版、および IBM SPSS Smartreader のためのものです。これらのアプリケーションのうち、今もなおインストールされているものがある場合は、このファイルを削除しないでください。
4. Home フォルダーで、*Library/Application Support/IBM/SPSS Statistics/30/Eclipse/* をごみ箱にドラッグします。
5. 必要に応じて、*<install directory>/Resources/Extensions/CustomDialogs* から「ごみ箱」にドラッグすることにより、インストールしたカスタムダイアログを削除します。
6. 必要に応じて、*<install directory>/Resources/Extensions/extensions* から「ごみ箱」にドラッグすることにより、インストールした拡張コマンドをすべて削除します。
7. ごみ箱を空にします。

